

春の息吹をもとめて 高畑山・倉岳山

実施日 2023年3月19日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 阿部 みゆき
 参加者 石附智江、遠井謙策、中村友子、小名秀鋭、瀧澤きよの、峯川弘子、宮崎敏男、佐藤聡美、阿部一郎、阿部みゆき、齋藤実、津田和子 計12名
 費用 1,540円(立川起算)
 タイム 鳥沢駅(9:00)小篠貯水池(9:54)穴路峠分岐(10:16)高畑山(11:30~12:15・昼食)穴路峠(12:45)倉岳山(13:10~28)立野峠(14:07)倉岳山登山口(15:16)梁川駅(15:40)

昨日とはうってかわって暖かな日差しに包まれた春の陽気になりました。

鳥沢駅からTさんの到着を待っての出発。のどかな田舎の集落を通過してしばらくいくと車道はここで終了。林道のゲートをくぐり抜け水の無い小篠貯水池を右手に見ながらさらに進むと高畑山登山口である峠道文化の森入口です。

登山道は広葉樹の落ち葉や苔むした岩に覆われた窪地を進みます。等間隔についたピンクテープが頼みの綱で見落とさないようにいくと分岐に到着。

小さな石仏、仙人小屋跡から先は急登に加えて長い道のりが続きます。



皆で声を掛け合いながらようやく高畑山山頂へ到着。予定より少し

早いのですがここで食事タイム。皆さんからの数々の差し入れや新鮮な果物をいただきほっとひと息、いつもながら有難う御座います。

すっかり満腹になったところで次なる目的地である天神峠(=穴路峠)を経て倉岳山へと向かいます。

稜線は広くて歩きやすく時おり耳を澄ますとヤマゲラやウグイスのさえずりが聞こえてきます。アップダウンを繰り返して最後の急登を上がりきったところで倉岳山頂に到着。



山頂からの眺望はそれは見事で眼下に広がる

大月方面の街並み、正面には扇山、百蔵山を見据え、奥多摩の山々、一番奥が雪を被った甲武信岳の頂きが神々しく輝いていました。一同時間を忘れてしばし眺めを堪能しました。

ここからは下山路、倉岳山直下は落ち葉の積もった激下りの道をそろそろと歩き立野峠からは左に折れて樹林帯をジグザグ下降、やがて谷底に沿ったゴロゴロ石の道に変わり何度か渡渉を繰り返して、苔むした石に何度も足をとられそうになり最後まで気の抜けない山行でした。

今回参加された皆さま、どうもお疲れ様でした。

ご協力いただき感謝しております。またの山行でお会いしましょう!

(記&写真・阿部みゆき)

(写真協力・遠井兼策/宮崎敏男/中村友子)

